

全国の「リボンズハウス」から

ご利用者の皆さまの【リボンズハウス通信】

発行：第5号 2012年10月15日

特定非営利活動法人がんセンターリボンズ

〒104-0045 東京都中央区築地1-9-4 ちとせビル 朝日エル内

TEL 03-3546-6101 FAX 03-5565-4914 <http://www.ribbonz.jp/>



～リボンズハウスのネットワークが、さらに広がっています

足利赤十字病院内に、17番目のリボンズハウスができました～

日本赤十字社栃木県支部 足利赤十字病院に、9月24日（月）リボンズハウスがオープンしました。がん関連の書籍・パンフレット、DVDやインターネットによる医療情報の提供を行うなど、情報交換の場として患者さんやご家族にご活用いただいています。また、ウィッグや帽子の試着ができるコーナーも設置しており、頭皮ケアセミナーなども開催も予定です。

足利赤十字病院では、リボンズハウスのオープンを記念して、12月7日（金）18:00～19:00、山田邦子さんの講演会を院内の講堂にて開催予定です。イベントの詳細が決まりましたら、またがんセンターリボンズのHPでもご紹介します。

今年はリボンズハウスの展開が活発です。4月に済生会松阪総合病院、7月に大阪警察病院、そして9月足利赤十字病院と、3つのリボンズハウスがオープンしています。



足利赤十字病院リボンズハウス
ウィッグ・帽子試着コーナー

大阪警察病院のリボンズハウスでも、オープン記念イベントを開催します

大阪警察病院内のリボンズハウスでは、11月17日（土）に開設記念イベントを行います。時間は13:30～15:00、場所は大阪警察病院の4階講堂です。

当日は、緩和ケアのご紹介や、がんセンターリボンズ理事で美容ジャーナリストの山崎多賀子さんによるメイク講演、シンガーソングライター寺尾仁志さん率いる合唱チーム「ヒューマンノートチーム」によるコンサート&合唱など楽しいイベントを予定しています。お近くの方は、ぜひご参加ください。



◆◆ がん治療中の女性に「医療用ウィッグ」をお贈りします ◆◆

がんセンターリボンズとP&G パンテーンの共同プロジェクト、「キレイのカ」プロジェクトではがん治療中の女性10名様に医療用ウィッグをお贈りしています。

これから治療により脱毛が予想される、または既に脱毛されている方で、現在ウィッグをお持ちでない方のご応募をお待ちしています。

詳しい応募方法を、がんセンターリボンズのホームページ【<http://www.ribbonz.jp/>】「新着情報」からご覧いただき、FAXかEメールにてご応募ください。

応募締め切りは、11月9日（金）です。応募者多数の場合は、抽選となりますことご容赦ください。



各地のリボンズハウスの活動報告

【恵佑会札幌病院】

手術後の食事で困っている患者さんのために、食事の楽しさを知ってストレスを軽減していただく「がん患者さんの治療と生活をつなぐ講演会」を8月27日（月）札幌グランドホテルにて開催しました。当NPO理事で学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長 服部幸應さんによる「食事をストレスにしない」講演などが行われました。講演は大盛況で、参加者の笑顔が見られました。



「がん患者さんの治療と生活をつなぐ
講演会」会場の様子

【十和田市立中央病院】

キャンサーリボンズ理事で美容ジャーナリストの、山崎多賀子さんによるトークショーを、9月21日（金）院内の医療情報センターにて開催しました。当日は、顔色を明るく健康的にする下地化粧品の紹介や、眉毛の描き方など具体的なメイク法のレクチャーもあり、参加者の皆さんも手元の鏡を見ながら熱心に学びました。



メイク法のレクチャーの様子

季節の健康レシピ

このコーナーでは、季節に合った簡単で体に優しいレシピをご紹介します。料理研究家で、当NPOの委員でもある村岡奈弥さんの美味しい簡単レシピをご紹介します。

●●●しょうがパスタ●●●

【材料】 4人分

- スパゲティ 160g
- ベーコン 80g（7ミリ角の棒状に切る）
- しょうが 50g（すりおろす）
- 水菜 3株（長さ4～5センチに切る）
- 塩、エクストラバージンオリーブオイル 各適量



しょうがの風味と
辛みをお楽しみ
ください

【作り方】

1. 大きめの鍋でパスタをゆでる。
2. フライパンにオリーブオイルを熱し、ベーコンを炒める。しょうがを加えさらに炒め、スパゲティのゆで汁約400mlを加える。
3. 少しかためにゆでたスパゲティと水菜を2に加え、塩で味をととのえる。様子を見ながらゆで汁を加え、少し水分が残るくらいの汁気に仕上げる。

* レシピ集サイト「e-gohan」に掲載したレシピをご本人の許可を得て掲載しています。

<村岡奈弥さんプロフィール> ホームページは、<http://www.cuisine-naya.com/>
辻クッキングスクール勤務後、辻調グループフランス校「シャトー・ド・レクレール」に留学し、フランス料理を学ぶ。帰国後、料理教室「エミーズ」のチーフ・コーディネーターを務め、その間、フランスの三ツ星レストラン「ミッシェル・プラス」で修行。料理教室を主宰するほか、「中医薬膳師」「国際中医師」の資格を取得し、現在、日本中医食養学会常任理事、国立北京中医薬大学日本校の講師を務める。



キャンサーリボンの活動報告

今年、国立がん研究センターは創立50年を迎え、記念イベントとして「がんの今と、これから」を9月15日（土）・16日（日）国立がん研究センター築地キャンパスにて開催、キャンサーリボンズも運営をお手伝いさせていただきました。

国立がん研究センター理事長 堀田知光先生のご挨拶で幕を開けたオープニングセレモニーでは、講演会や、キャンサーリボンの理事でもある山田邦子さん率いる「スター混声合唱団」コンサート、朗読「がんを生きる メッセージ」など盛り沢山のステージイベントとなりました。

展示イベントでは、がん患者さんが感じている生活の不便さを解消・軽減する工夫や身近な製品などを紹介する「暮らしが広がるアイデア展」、がんの最新の研究・診断方法・治療法などを紹介する「キャンサーサイエンスカフェ」の展示が来場者に大変好評でした。国立がん研究センターHP

(<http://www.ncc.go.jp/jp/>) で、当日の様子を動画でご覧いただけます。



朗読ステージイベントの様子
(奥)朗読・青木裕子さん、
(手前)司会 当 NPO 副理事長
岡山慶子

図書館連携プロジェクト



キャンサーリボンズでは、各地の図書館と連携して情報発信する活動を進めています。連携活動の一環として、図書館界最大のイベント「第14回図書館総合展」フォーラムに初出展します。

パネルディスカッション『市民の健康を守る図書館の役割—「2人に1人はがん」時代をむかえて』、11月21日（水）10:30～12:00、場所はパシフィコ横浜アネックスホール第6会場です。パネリストには、キャンサーリボンズ理事で三重大学附属病院 院長 竹田寛先生はじめ、厚生労働省 健康局がん対策・健康増進課がん対策推進官の方や、かねてよりキャンサーリボンズと連携して活動している各地の図書館の司書さんらをお迎えし、図書館と NPO との連携事例を紹介するとともに、地域連携や今後の図書館のあり方などについて考えます。コーディネーターは、当 NPO 副理事長 岡山慶子です。パネルディスカッションへのご参加はお申込みが必要です。ご応募は、キャンサーリボンズホームページ <http://www.ribbonz.jp/> 図書館総合展バナーからお願いいたします。

なお、フォーラム開催期間中（11月20日（火）～22日（木）10:00～18:00）、キャンサーリボンズは展示会場でブース出展もいたします。ぜひ、お立ち寄りください。なお、フォーラムへのご参加は、図書館関係者だけでなく一般の方も可能で、入場は無料です。

1day リボンズハウスのご紹介

10月のピンクリボン月間に合わせた活動の一環として、(株)パソナさんとの共催による1ヶ月の期間限定「リボンズハウス」を設置しています。

キャンサーリボンズのがん関連の書籍の閲覧と、図書館との連携活動「がんと暮らす情報コーナー」のご紹介をしています。

期間限定リボンズハウスを設置している場所は、パソナグループ本部（東京・大手町）地下1階ソーシャルアクティビスト倶楽部という社員食堂としても利用するフロアの図書スペースです。

主に、社員の方が昼休みに利用していますが、どなたでも閲覧できるスペースです。

(株)パソナ内の図書スペースに
設置したリボンズハウスコーナー





CD・DVD のご紹介

■朗読CD「あなたには、明日、生きる意味がある」

朗読CDが、読売新聞（9月24日朝刊）で紹介され、大好評です。CDには、日野原重明（医師）、樋野興夫（医師）、堀文子（画家）、坂田明（サクソ奏者）、岡山慶子（当NPO副理事長）（敬称略）ほか6名のメッセージが、軽井沢朗読館館長 青木裕子さんによる朗読で収録されています。収録時間63分 定価1,000円（税込）+送料80円です。

ご希望の方は、「朗読CD希望」、氏名、郵便番号・住所、電話番号、とご記入の上、NPO法人キャンサーリボンズ宛FAX（03-5565-4914）かメール（ribbonz@ellesnet.co.jp）にてお申込みください。



■独立行政法人国立病院機構 大阪医療センターのCD・DVD

「第3回支えあいの輪 ウタのタネ in 大阪医療センター～音楽のちから～」を2012年7月10日に大阪医療センターで開催した際、「きぼう・元気・えがお」をテーマに、闘病中の方や医療従事者の方々から歌詞を募集しました。その歌詞をもとに、シンガーソングライター寺尾仁志さんが「笑顔があれば～if you smile～」という素敵な曲にしてくれました。とてもリズムカルで元気がでる曲です。



また、大阪医療センターは、二次被ばく医療機関（放射線災害に関して専門的な機能・各種検査機器を有する機関）の役割を担うセンターです。大阪医療センター地下1階にある緊急被ばく医療施設で実施した訓練の様子をDVDにして販売しています。

「笑顔があれば～if you smile～」は500円。「災害対応訓練」DVDは1,000円。いずれも（税込）送料別。ご購入・お問い合わせ先は、大阪医療センター 患者情報室・リボンズハウス 電話：06-6942-7321（受付10時～16時・土日祝祭日は休み）



「笑顔があれば」、「災害対策訓練」をご購入いただくと、売り上げ全額が大阪医療センターからNPOに寄付され、リボンズハウスの拡充に充てられます。

リボンズハウスとは…

がん患者さんの「治療と生活」をつなぐ、具体的な情報とケア体験を提供する場所です。医療者やヘルスケアに携わる多くの専門家の手によるプログラムを通して、患者さんがより自分らしく少しでも快適な生活を送れるよう、サポートしていきます。また、広く地域に開かれたスペースとして多くの人々が情報を共有し、支えあいを実践できる場になることを目的としています。各地域や施設の特性を活かしながら、立地に合ったソフトを展開しています。

キャンサーリボンズ HP【<http://www.ribbonz.jp/>】 や  facebook 【<http://www.facebook.com/cancerribbonz>】 もご覧いただけたらうれしいです。いずれも「NPO 法人キャンサーリボンズ」、または「キャンサーリボンズ」で検索できます